

◆総務省発表の人口推計のポイント

- ▶2012年10月1日現在の総人口は1億2751万5000人
- ▶前年比28万4000人減で、過去最大の減少幅
- ▶65歳以上の人口が初めて3000万人超に
- ▶全都道府県で、65歳以上の人口が14歳以下の人口を上回る
- ▶人口減少率は福島県が最大

総務省は16日、日本の総人口が前年より28万4000人減少し、1億2751万5000人(前年比0.22%減)になったとする。2012年10月1日現在の人口推計を発表した。減少幅は比較可能な推計が残る1950年以降で過去最大となる。一方で、65歳以上の高齢者の人口は初めて3000万人を超え、全都道府県で高齢者数が14歳以下の年少者数を上回り、少子高齢化の一層の進展が浮き彫りになった。△関連記事2面▽

人口最大の28万人減

65歳以上初の3000万人超

都道府県別でみると、福島県だった。また、東京都、増加率が最も高かったのは埼玉県、千葉県では初めては沖縄県。減少率最大は福島県、死亡者数が出生児数を上回った。

